

事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分「一部、令和7年度分を含む」)

静岡県立沼津視覚特別支援学校

1 事務事業に関すること	
(1) 事務事業の概要	1
(2) 事務執行の根拠法令調	15
2 職員に関すること	
(1) 職員調	16
(2) 職員の年齢調	18
(3) 健康管理	19
3 予算の総括に関すること	
(1) 歳入予算執行状況調	20
(2) 現金出納調	24
(3) 預金調	25
(4) 歳入歳出外現金調	26
(5) 歳出予算執行状況調	27
(6) 委託料等歳出予算執行状況節別集計表	32
4 補助金等に関すること	
(1) 委託料に関する調	33
(2) 負担金支出調	37
5 工事に関すること	
(1) 建築工事調	38
6 財産に関すること	
(1) 公有財産調	40
(2) 事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	42
(3) 行政財産貸付・使用許可調	43
(4) 備品・図書調	44
(5) 主要備品調	49

事務事業の概要

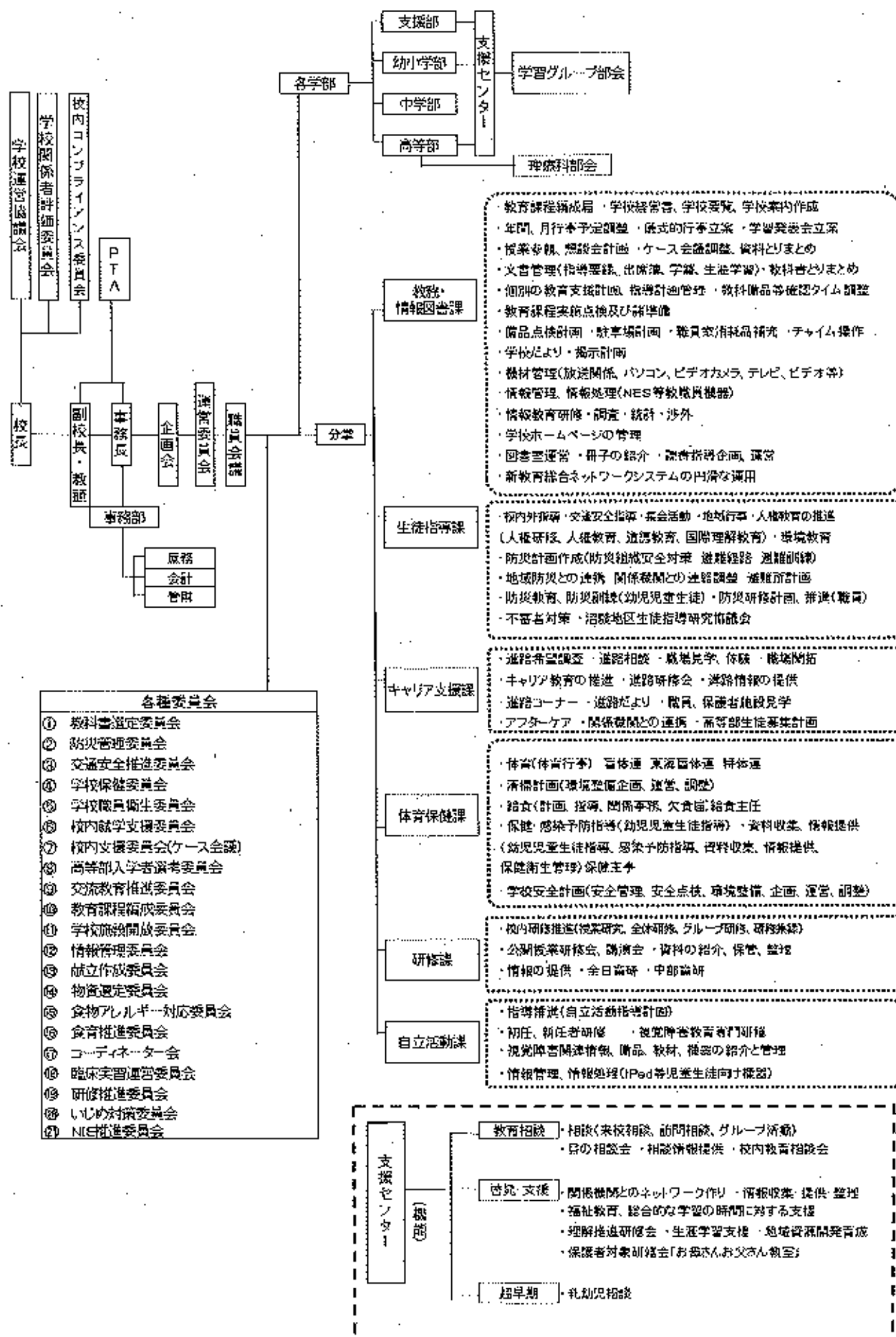
1 概況

(1) 学校の沿革

昭和24年4月1日	静岡県立沼津盲学校設立認可
昭和24年5月10日	元沼津兵器本館階上（沼津市大岡）を仮校舎として入学式挙行
昭和24年6月10日	開校式挙行
昭和24年12月27日	新校舎に移転（沼津市三枚橋米山町536の5）
昭和25年4月28日	落成式挙行
昭和26年8月23日	寄宿舍2室増築
昭和28年6月6日	盲学校・聾学校分離
昭和29年4月1日	中学部設置
昭和32年4月1日	あんま師、はり師、きゅう師、柔道整復師学校養成施設認定規則により高等部理療科本科及び別科設置認定
昭和32年11月26日	校舎2階建1棟（解剖室・針灸実習室・あんま室・普通教室2）増築
昭和34年10月4日	寄宿舍2階建4室増築
昭和35年4月1日	高等部専攻科設置認定
昭和35年12月27日	校舎2階建2教室・灸実習室・臨床実習室・診察室・患者待合室増築
昭和38年3月25日	体育館兼講堂完成
昭和38年5月20日	校旗制定
昭和43年9月30日	住居表示の変更により沼津市米山町6番20号となる
昭和44年11月1日	創立20周年記念式典挙行
昭和48年4月1日	静岡県立盲学校高等部の統合により高等部理療科本科並びに専攻科の募集を停止、幼稚部設置
昭和52年3月31日	静岡県立沼津盲学校高等部廃止
昭和52年4月1日	静岡県立盲学校学則の改正により別科は浜松盲学校高等部別科（分教室）となる
昭和53年3月7日	新寄宿舍完成
昭和54年3月20日	南館完成
昭和55年3月27日	本館完成
昭和55年6月7日	創立30周年・校舎落成記念式典挙行
昭和61年3月25日	プール及び付属棟完成
平成元年11月11日	創立40周年記念式典挙行
平成2年4月1日	静岡県立盲学校学則の一部改正に伴い静岡県立浜松盲学校分室として高等部本科保健理療科を設置するとともに同別科の募集を停止
平成3年3月31日	静岡県立浜松盲学校高等部別科（分教室）廃止
平成9年10月17日	南館耐震補強工事完成
平成10年3月5日	新体育館兼講堂完成
平成10年10月8日	本館耐震補強工事完成
平成11年11月6日	創立50周年記念式典挙行
平成17年4月1日	寄宿舍休舎
平成20年4月1日	静岡県立沼津視覚特別支援学校に校名変更
平成21年11月7日	創立60周年記念式典挙行
平成25年3月25日	災害用マンホールトイレ完成
平成27年2月17日	蓄電池付太陽光発電設備完成
令和元年10月26日	創立70周年記念式典挙行
令和2年1月20日～22日	ダイアログ・イン・ザ・ダーク開催

(2) 組織図

校務分掌表



2 目指す学校像

- ・ 幼児児童生徒が『学びがいのある学校』 ・ 外部の関係機関が『頼りがいのある学校』
- ・ 保護者・保証人が『通わせがいのある学校』 ・ 地域が『応援しがいのある学校』
- ・ 職員が『働きがいのある学校』

(1) 教育目標 『自立する人を育てる』

- 【自立する人とは】
- ・ 《知》豊かな感性と考えをもつ人
 - ・ 《心》他者と自分を愛する人
 - ・ 《体》健康な体を保つ人
 - ・ 逞しく自らの未来を切り拓く人
 - ・ 必要な支援を依頼でき、それに感謝できる人

(2) 目標具現化の柱

- ア 視覚障害教育の専門性と授業力の向上、キャリア教育の充実
- イ 命と心を守る安全安心な教育環境
- ウ 地域とのつながり、視覚特別支援学校としてのセンター的役割の発揮
- エ 働きがいを感じ、高めあう職場環境づくり

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	視覚障害に留意した主体的に学び、考えを表現する授業づくり	・ 研修で得た学びを指導に生かし、授業改善や授業力向上に繋がった教員 100%	<職員> AB 100% <保護者> ・ 主体的に学んだり伝えたりする教育活動が行われている。AB 96% 校内グループ研修や一人一授業公開、他校の研究会、オンライン研修などを実施。	A	授業づくりについて学び合うことができ、学んだことを授業改善や授業力向上に活かすことができた。 他校の授業や実践などを知る機会を引き続き設定したい。
	視覚障害教育に必要な専門性の向上と指導の実践（ICT活用や情報を含む）	・ 自身の専門性の維持・向上ができた教職員90%以上 ・ 自立活動研修、視能訓練士との連携で得た知識や技能を授業、学校公開、日常生活等で活かすことができた教員 80%以上	<職員> AB 94% <保護者> ・ 視覚障害に配慮した教育活動が行われている。AB 96% 自立活動研修を5回実施、自立活動通信による情報提供を3回実施。	A	自立活動研修や通信により効果はあった。 評価では視能訓練士や歩行訓練士の助言をより広く共有したいという意見があった。次年度取り組みたい。
イ	将来をイメージし、児童生徒の自己選択意識の指導	・ キャリア教育について学んだことをもとに将来をイメージし幼児児童生徒の自己選択を意識した指導や保護者面談等が活かすことができた教員 80%以上	<職員> AB 100% <保護者> ・ 年齢や発達段階に応じた自己選択を意識した教育活動が行われていた。AB 91% ・ 保護者面談や学部懇談会、PTA学習会などを通して、幼児児童生徒の	B	買い物学習、おすすめ献立づくり、進路学習、集会企画の話し合いの取組などで幼児児童生徒が自己選択する場を設定するなど、教員の意識が高まった。 保護者からは、進路についての情報がもっと欲しいとの声もある。引き続き、保

			将来について考える機会が持てた。AB87% C13% 卒業生の進路状況、事業所見学、進路講演会などの職員進路学習会実施。 各学部で自己選取場面を設定した授業実践、職業学習、学校見学、職場見学、先輩の話を開く機会などを計画的に実施。		護者向けの説明や学習会を行いたい。
	自他を尊重し合う心と体の教育	- 自分や仲間・友達の好きなところや良いところを教師へ1つ以上伝えることができる幼児児童生徒80%以上。 - 体力が維持向上した幼児児童生徒75%以上 - 人権感覚を意識した指導ができたと感じる教職員80%以上	<職員> AB 100% <保護者> 自他を尊重し合う教育活動が行われている。 AB 100% 自分や仲間・友達の好きなところや良いところを伝えられた幼児児童生徒は95%。 性の指導、人権教育は年間計画の活用を呼びかけ、各学部1回以上授業実施。学部ごとに運動週間企画を実施。体力テスト結果昨年比較が可能で向上した種目がある児童生徒は100%	A	集団活動を意識的にを行い、身体を動かしたり幼児児童生徒同士の交流をしたりして楽しめる機会が持てた。 次年度も、性の指導、人権教育などの年間計画をもとに発達段階に応じた実践に取り組みたい。
	超早期から子どもの目と心の充実	- 医療機関・保健センター等の協力が得られた場合に調査し、理解推進・教育相談を受けて、「よかった」という回答が70%以上 - アンケートで、「よかった」以上をつけた相談者80%以上	医療機関や保健センターに6回訪問し理解推進のための説明を行った。全訪問先で、取組について「よい」との回答だった。	A	訪問した医療機関や保健センターから、相談や見学の希望の情報がくる等の成果があった。 今後とも訪問での理解推進の取組を継続したい。
ウ	本校と隣接する東区役所と連携し、地域に根ざした教育の推進	- アンケートにより学校への理解が深まった割合が80%以上。 - 新システムを使用し、学校ホームページで情報を分かりやすく発信することができる。	<保護者> 本校と視覚障害について、発信と理解推進がなされている。 AB74% C13% D8% 市町福祉課等関係機関30ヶ所以上を訪問し、理解推進活動を実施。医療機関・教育機関・放課後等デイサービス職員を対象に見学会を実施。参加者の理解が深まった割合は100%。	B	見学会を開催したことにより、関係機関の理解が深まった。放課後等デイサービスへの児童生徒の引き渡し時の学校からの連絡が円滑となった。また学校ホームページは新システムの移行にともない、表示の色やレイアウト等をわかりやすくした。 今後とも学校見学等の理解推進の取組を継続していくとともに、保護者への発信もより意識したい。

			学校ホームページは新システムに移行。		
	地域の外、地方部等とがうや活動実践	(小学部) 活動を通して児童が学校外の方と関わりが持てたと感じる教員80%以上。 (中学部) 活動を通して、生徒が地域の方や学校外の専門家から充実した学びを得られたと感じる教員80%以上 (高等部) 地域やイベント等でのマッサージ奉仕年4回以上。	<職員> AB 100% <保護者> ・外部講師等による授業や地域の方との交流など、社会とつながり合う教育活動が行われている。AB 96% 花壇づくり、樹木名札取付活動、マッサージ奉仕活動4回、環境教育等で地域の方や外部講師との教育活動の実施。	A	地域の方や外部の方と一緒に活動することで、人と関わりながら学んだり、活動したりする経験を増やすことができた。 今後も校外の方と関わる活動を継続して実施したい。
エ	人が緊急時にどうにか実体的な緊急体制	・緊急時や発災時に、自らの判断で自信を持って、組織的な緊急時対応や避難行動ができる教職員80%以上。	<職員> AB 100% <保護者> ・緊急時・発災時の実践的な訓練が実施されている。AB 100% 不審者対応訓練、地震・火災避難訓練、未告知訓練やスモーク体験、各種防災研修を実施。	A	各種訓練により、トランシーバーの使い方や安全確認、避難誘導などを実践的に学んだ。 次年度もより実践的な訓練の実施を重ねたい。
	児童生徒が安心して活動できる魅力的な環境の整備	・学校環境の不備を原因とした事故発生0回 ・校内で自分の好きな場所があり、伝えることができる幼児児童生徒80%以上。	<職員> AB 100% <保護者> ・学校は幼児児童生徒にとって居心地の良い場所になっている。AB 96% 月1回の安全点検、ヒヤリハット点検実施。点検後は対象箇所の迅速な対応実施。学校の好きな場所があると伝えられた児童生徒90%。	A	各種点検と対応の徹底により、安全意識が高まった。環境不備が原因の事故は0。 引き続き、各種点検と対応の徹底と情報共有を継続し、安全意識を高め続けた。
オ	専門性と準備が、魅力的な環境の整備	・限られた時間内で効率良く会議・打ち合わせできたと思えた教職員80%以上。	<職員> AB 97% 定時退勤日の設定、会議等の時間厳守、提案・検討事項の明確化、掲示板の利用、資料事前配布等により効率化。	A	短時間での打合せ等が可能になったり、計画的に仕事を進めようとした意識が高まった。 引き続き、限られた時間を有効に使えるよう取り組みたい。

個々の強みを活かした風通しのよい職場づくり	・職員同士で相談、協力し合えたと思えた教職員 80%以上。	<職員> AB 100% 不祥事根絶研修として、事務職員も含めたグループ研修を2回実施。	A	グループ研修をきっかけに職員間で話がしやすくなったたり、他にも話し合いたい内容が提案されたり職場環境の向上につながった。 教職員の交流のために、引き続きグループワークを意識的に実施したい。
-----------------------	-------------------------------	---	---	---

(2) 令和7年度の取組目標・達成方法・成果目標

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
ア 視覚障害教育の専門性と授業力の向上、キャリア教育の充実	幼児児童生徒を主語にした「問いをもち、分かったと実感できる授業づくり」	・グループ研修(中心授業年3回)と一人一授業公開 ・外部研修会への参加と校内伝達研修 ・研修講演会「はごろも『夢』講演会」の実施	・研修を生かし、個に応じた授業づくりができた教員100% ・授業が分かりやすく、楽しいと思うと答えた幼児児童生徒100%	研修課
	視覚特別支援学校としての学習環境づくり (教員の専門性向上、教材教具、ICT活用、歩行訓練士、視能訓練士等の活用)	・専門性向上のための研修年4回以上 ・自立活動通信年3回以上 ・視能訓練士、歩行訓練士による校内環境の指導年3回、助言内容を職員に共有	・自立活動研修、視能訓練士、歩行訓練士との連携で得た知識や技能を授業、生活指導で活かすことができた教職員100%	自立活動課
	自立へのビジョンをイメージしたキャリア教育	・発達段階や年齢に応じた、キャリア教育に関する研修、情報提供 年3回以上 ・発達段階や年齢に応じた、キャリア教育に関係する授業の実践 ・個別面談で将来の生活や目指す姿につながる現在の指導について保護者と共有	・幼児児童生徒の発達段階や年齢に応じた、キャリア教育の視点で授業を実践することができた教員100%	キャリア支援課
イ 守る安全安心 命と心を	自分事と捉え、自ら考え、行動する防災教育	・様々な発生状況を想定した避難訓練や事前事後学習の設定 ・幼児児童生徒のあらわれを学部内で情報共有	・学びや経験を活かして命を守る行動ができたと答えた幼児児童生徒80%以上	生徒指導課

	自分も仲間も大切に する心と体の教育	・仲間との交流や運動の楽しさを味わうことができる全校集会や運動週間等の実施 ・発達段階に応じた系統性のある人権教育の実践	・仲間との交流や運動の楽しさを味わうことができた幼児児童生徒100% ・人権教育年間指導計画を活用し、人権感覚を意識した指導ができたと回答した教員100%	生徒指導課 体育保健課 生徒指導課
ウ 地域とのつながり、視覚特別支援学校としてのセンター的役割の発揮	幼保、学校、行政等との連携による教育相談の充実	・相談者の在籍市町の学校訪問、園訪問、関係機関と連携を実施	・関係機関との連携後、支援が深まったと回答した相談者100%	支援部
	教職員一人一人が理解推進の意識向上	・東部地区市町の障害福祉課、ハローワーク、関係機関へ全教員で理解推進 ・医療と福祉と教育担当者会、放デイ担当者会の実施 (高等部) ・高等部独自での理解推進活動の実施 ・行事ごとのホームページ記事作成の実施	・学校への理解が深まった割合が80%以上 (高等部) ・関係者の集まる場や関連機関等での高等部学部説明 年4回以上 ・ホームページの更新内容・時期が適正と考える保護者80%	支援部 高等部 教務課
	豊かな心と経験を作る交流教育	(小学部) ・環境学習、詩を楽しむ会等の校外の方と関わる機会の設定 (中学部) ・生徒が中心になって企画運営する交流活動の実施。 (高等部) ・地域やイベント等でのマッサージ奉仕の実施	(小学部) ・活動を通して関わりを楽しめたと感じる児童80% (中学部) ・活動を通して、様々な人から学びや経験を得たと感じる生徒80% (高等部) ・施術をとおして、様々な人から学びや経験を得たという生徒100%	各学部

づくり エ 働きがいを感じ、高めあう職場環境	働きやすい学校にするためにチームで考え行動する職員集団	・学部等を超えた職員グループでの研修や協働業務年2回以上 ・事務職員等の校務運営（情報、私費会計業務等）への参画	・相談、協力しやすい職場だと思えた職員100% ・教員、事務職員の専門性を生かした役割分担を検討し、令和7年度中に実施体制を構築 ・校内美化が行き届いている学校と感じる保護者、教職員80%以上	企画会 事務部
--------------------------------------	------------------------------------	---	--	-----------------------

4 監査対象期間における特色ある取組

年 度	取 組 概 要	成果及び課題
令和6年度	○専門性の向上と指導の充実 ・視能訓練士の活用を年間3回計画し、学校生活環境や児童生徒の実態から専門的助言をもらえる機会を設定し、専門性や指導力の向上をめざす。 ○N I E活動 ・9月から来年度3月までの期間で日本新聞協会から指定をうけて実践。小学部4年生以上を対象に新聞を使って国語力や自己理解を含めた情報収集スキルの向上をめざす。 ○キャリア教育の充実 ・P T A進路学習会を実施し保護者への視覚障害者の進路に関する情報提供を行う。 ・学校運営協議会の協議テーマをキャリア教育として外部の意見を取り入れられるようにする。 ○理解推進活動 ・夏休みに全職員で分担して東部伊豆	・事前に児童生徒の実態や医療機関と学校の連携状況について把握することで、個別の障害の状況における生活上のアドバイスをもらうことができています。 ・年間を通して取り組み、校内N I E推進委員会、職員会議で目的や活動テーマ、日程等を確認し、各学部の活動内容について全体で共有した。授業についても学校全体で共有し、N I Eについて意識が深まった。 ・「視覚障害者の進路状況」について全国、県内、本校の視覚障害者や卒業生の進路について表や図、写真を使って説明するとともに、事業所の種類についての解説も行い保護者の理解を深めた。 ・第1回は各学部のキャリア教育についてグループワークで意見を出し合った。出された意見は各学部で共有し、教員の意識を高めた。 ・今年度も継続して東部伊豆地域の各機関に訪問した。在住する児童生徒の様子を映像で伝えることで、より関心を持って

	地域の各市町教育委員会、福祉課、ハローワークを訪問し本校の概要や教育相談等の理解推進。 ・沼津駅前で点字ブロック理解推進活動を通勤、通学者に向けて行う。5年ぶりに近隣高校生にも協力を呼びかけ活動する。	聞いてくれ、連携しやすい関係となってきた。 ・荒天のため中止となった。これから課題として、改めて理解推進活動について考えていきたい。
令和7年度	○専門性の向上と指導の充実 ・視能訓練士の活用を年間3回計画し、学校生活環境や児童生徒の実態から専門的助言をもらえる機会を設定し、専門性や指導力の向上をめざす。 ・自立活動研修を年間通じて行い、新任者だけでなく、学校全体でスキルアップを図る体制を整える。 ○NIE活動 ・昨年度に引き続き、日本新聞協会から指定をうけて実践。新聞を使って国語力や自己理解を含めた情報収集スキルの向上をめざす。12月10日に公開授業を行う。 ○地域とのつながりを深める実践 ・JR東海の協力で実際の電車からの避難訓練を行う。本校では電車通学者もいるため、より実践的な訓練となる。 ・昨年度に引き続いて、ライオンズクラブと児童生徒で樹木札の設置を行う。樹木札はライオンズクラブからの寄付でいただいた。 ○理解推進活動 ・夏休みに全職員で分担して東部伊豆地域の各市町教育委員会、福祉課、ハローワークを訪問し本校の概要や教育相談等の理解推進。	・繰り返し指導を受けることで、実態に基づく指導や環境づくりを日々の実践に生かすことができた。今後それぞれの学びを共有し、学校全体の学びにしていきたい。 ・視覚教育の基礎を学校全体で学ぶ体制を作ることで、専門性の底上げができた。 ・2年目ということもあり、年度始めから円滑に進めることができた。個々にではなく学校全体の学びとなるように取り組めるようにしたい。 ・実際の電車で訓練することで、より真剣に取り組み、非常時を想定することができた。児童生徒も教員も地震や津波いろいろな場面を想定して考えることができた。 ・樹木札という形で残ることで、児童生徒も昨年の様子を思い出すことができる。今年は10月に実施する予定である。 ・今年度も継続して東部伊豆地域の各機関に訪問した。在住する児童生徒の様子を映像で伝えることで、より関心を持って聞いてくれ、連携しやすい関係となってきた。繰り返すことで確実に根差した活動になっている。

5 教職員について

(1) 異動状況

(単位：人)

職名 区分		本務職員											臨時・会計年度任用職員						臨時・会計年度任用職員計	合計
		教育職員						行政職員					本務職員計	教諭（臨）	実習助手（臨）	主事（臨）	非常勤講師	非常勤嘱託員		
		校長	教頭	教諭	教諭（任期付）	養護教諭	栄養教諭	小計	事務長	主査	主任	技能長								
転出者		1	3					1												5
退職者			3						1					1					1	6
計		1	6					1	1					1					1	11
転入者		1	4						1											6
新任者			2					1						1					1	5
計		1	6					1	1					1					1	11
差引増減		0	0					0	0					0					0	0

(2) 現員数

(令和7年4月1日現在) (単位：人)

職名 区分	本務職員												臨時・会計年度任用職員						合計
	教育職員						行政職員						本務職員計	教諭（臨）	実習助手（臨）	非常勤講師	乳幼児発達支援指導員	臨時・会計年度任用職員計	
	校長	教頭	教諭	教諭（任期付）	養護教諭	栄養教諭	小計	事務長	主査	主任	技能長	小計							
計	1	1	28	1	1	1	33	1	1	1	1	4	37	2	1	2	1	6	43

(3) 健康管理について

<令和6年度>

ア 健康管理の推進

教職員健康診断は、全教職員が受診した。再検査を通知された者には早期の再受診を勧め、主治医の下で経過観察・治療中の者からは定期受診の結果を受けた。

職員安全衛生委員会は、定期的を開催した。委員には各学部の代表として視覚障害をもつ当事者職員と各学部主事・主任を選出した。視覚障害当事者としての視点と各学部主事・主任の視点で、現状の報告や環境衛生について話し合った。出された意見は、必要時掲示板や全体打合せで周知した。

イ 腰痛予防対策

県が実施する腰痛予防健診を実施し、二次検診対象者が二名いた。専門医による二次検診を受け、経過観察との結果を受けた。

<令和7年度>

ア 健康管理の推進

教職員健康診断は、全教職員が11月中に終了予定である。再検査を通知された者には早期の再受診を勧める。

職員安全衛生委員会は、定期的に開催している。委員には各学部の代表として視覚障害をもつ当事者職員と新任職員から選出した。当事者や新任者としての視点で、現状の報告や環境衛生について話し合っている。出された意見は、必要時掲示板や全体打合せで周知している。

イ 腰痛予防対策

腰痛予防対策として県が実施する腰痛予防健診を実施し、必要に応じて二次検診を実施する予定である。

(4) 教職員の研修について

<令和6年度>

ア 授業づくり研修

目 的	内 容	成果と課題
「主体的に学び、思考を深め表現する授業づくり」を研究主題に3つのグループに分かれ、よりよい授業づくりになるよう研修を行う。 (2年目継続)	全体研修 ・グループ中心授業 ・事後研修会 それぞれの中心授業をとおして、授業改善、教科指導力の向上を目指す。	・全体研修 教科指導学習会 重複グループ中心授業(7/4) 教科グループ中心授業(10/11) 高等部中心授業(11/11) どの授業公開についても録画参観を含め全教職員で授業を参観した後、授業反省・研究協議を行う。助言者を招き、協議の観点を絞り込むことで、充実した協議となるようにする。
	グループ研修 「教科グループ」 「重複グループ」 「高等部」に分かれて、研修主題に迫る授業づくりに向けて研修を行う。	・グループごとに副題を設定して研修を進めている。(2年目継続) 教科グループ「子どもの思考の流れを生かした授業を目指して」 重複グループ「子どもの思考の流れに着目して」 高等部グループ「発問の工夫」
	専門研修 ・外部研修への参加 ・研修出張の共有	・視覚障害教科教育研究会(8/5、6)のオンライン希望研修を行った。それぞれに合った内容の研修を選択し、他校の実践例を知ることができた。 ・様々な研修会や講演会に参加した職員が、校内掲示板等で全体へ情報を共有し、職員全体の指導の質を高める機会としたい。

イ 自立活動研修

目 的	内 容	成果と課題
視覚障害のある幼児児童生徒への基礎的支援方法を習得する。	基礎研修 ・視覚障害の基本 ・点字の基礎、手引き歩行 ・触察体験	・新任者を対象とした基礎研修で視覚障害教育の基礎基本を学ぶ研修を毎年継続して行っている。
	自立活動専門研修 ・UDプラザ(7/30)	・アンケート結果より、学びたいことが学べる研修を計画した。これまでのところ予定通り実施で

目 的	内 容	成果と課題
	・点字(7/30) ・歩行訓練(10/17) ・音声機器(11/28)	き、参加者数も多い。 ・現時点まで予定どおり実施できている。

<令和7年度>

ア 授業づくり研修

目 的	内 容	成果と課題
「問いをもち、分かったと実感できる授業づくり」を研究主題に3つのグループに分かれ、よりよい授業づくりになるよう研修を行う。 (1年目)	全体研修 ・グループ中心授業 ・事後研修会 それぞれの中心授業をとおして、授業改善、教科指導力の向上を目指す。	・全体研修 教科指導学習会 重複グループ中心授業(9/16) 教科グループ中心授業(11/26) 高等部中心授業(7/14) - どの授業公開についても録画参観を含め全教職員で授業を参観した後、授業反省・研究協議を行う。助言者を招き、協議の観点を絞り込むことで、充実した協議となるようにする。
	グループ研修 「教科グループ」 「重複グループ」 「高等部」に分かれて、研修主題に迫る授業づくりに向けて研修を行う。	・グループごとに副題を設定して研修を進めている。(1年目) - 教科グループ「子どもの心を揺さぶるしかけづくり」 - 重複グループ「個に応じた手立て・仕掛け」 - 高等部グループ「生徒が分かるまでの道筋に着目して」
	専門研修 ・外部研修への参加 ・研修出張の共有	・視覚障害教科教育研究会(8/5、6)のオンライン希望研修を行った。それぞれに合った内容の研修を選択し、他校の実践例を知ることができた。 ・様々な研修会や講演会に参加した職員が、校内掲示板等で全体へ情報を共有し、職員全体の指導の質を高める機会としたい。

イ 自立活動研修

目 的	内 容	成果と課題
視覚障害のある幼児児童生徒への基礎的支援方法を習得する。	基礎研修(新任者対象) ①「視覚障害の基本」(4月4日) ②「手引き歩行」(4月4日) ③「物の触り方」(4月22日) ④「点字の基礎」(5月26日) ⑤「点ブリ・立体コピー」(5月28日)	・主に新任者を対象とした基礎研修で、視覚障害教育の基礎基本を学ぶ研修を、毎年継続して行っている。 ・視覚教育の啓蒙の意味もあり、その裾野を広げることができている。
	自立活動専門研修(全員対象) ①「テストの作り方」(7月15日) ②「視能訓練士」(7月28日) ③「単眼鏡について」(10月16日)	・今年もアンケート結果より、学びたいことが学べる研修を計画した。これまでのところ予定通り実施でき、参加者数も多い。

目 的	内 容	成果と課題
	④ 「歩行訓練」(10月23日)	・教員の専門性を底上げする機会となっている。

6 防災対策について

<令和6年度>

日 付	内 容	成果と課題
4月22日	第1回防災訓練 火災想定 防災シミュレーション訓練	・5月のマンホールトイレ設置訓練では、地域住民の方と協力して設置した。災害時の対応として地域での意識が高まり、地域の防災訓練でも実施の希望があった。 ・7月の職員防災研修では、オンラインで東日本大震災の語り部の方に発災から避難行動状況を時系列でお話いただき、防災意識が高まった。 ・9月の職員防災訓練では校内でのトランシーバーでの報告、連絡の訓練を行い、使用時の留意点等を確認できた。 ・現時点で予定どおり実施できている。
5月16日	マンホールトイレ設置訓練 (新任職員・地域住民対象)	
6月25日	職員不審者対応訓練	
7月30日	職員防災研修(被災者講演)	
8月28日	第2回防災訓練 南海トラフ地震臨時情報想定 引き渡し訓練	
9月10日	職員防災訓練(初期消火・トランシーバーの使い方)	
11月12日	第3回防災訓練 スモークトンネル体験	
1月	第4回防災訓練 地震火災想定(未告知)	

<令和7年度>

日 付	内 容	成果と課題
4月22日	第1回防災訓練 火災想定 防災シミュレーション訓練	・第1回の防災訓練では、教職員の異動や児童生徒の進級を踏まえて、新たな環境での防災のシミュレーションができた。 ・5月のマンホールトイレ設置訓練では、今年も地域住民の参加があり、協力して設置した。災害時の対応として地域での意識が高まり、連携の必要性を感じる。 ・7月の職員防災研修では、県危機管理課の講師から、災害に備える意識と発災時の対応について学んだ。教職員が自分事としてとらえ、考えることができた。 ・8月の引き渡し訓練では引き渡し時の連絡方法に課題が見られた。今後、検討共有していく。 ・9月の職員防災訓練では、初期消火について教職員間での対応を確認する。 ・現時点で予定どおり実施できている。
5月12日	マンホールトイレ設置訓練 (新任職員・地域住民対象)	
6月24日	職員不審者対応訓練	
7月28日	職員防災研修(防災講話:発災時の事例:学校の対応や学校再開までの状況等)	
8月28日	第2回防災訓練 南海トラフ地震臨時情報想定 引き渡し訓練	
9月10日	職員防災訓練(初期消火訓練)	
11月13日	第3回防災訓練 起震車体験	
1月	第4回防災訓練 地震火災想定(未告知)	

7 学校開放について

静岡県立沼津視覚特別支援学校の施設等の開放に関する細則に基づき、地域におけるスポーツ活動等に対し、運動場等学校施設を開放している。

<令和6年度>

施設	利用種目	利用日数 (延日数)	利用者数 (延人数)	備 考 (利用者負担電気料金)
運動場	グラウンドゴルフ	19日	152人	0円
	グラウンドソフトボール	4日	47人	0円
	地域活動	1日	13人	0円
体育館	よさこい	4日	87人	1,447円
	フロアバレーボール	11日	108人	0円
	パラスポーツ	7日	94人	1,180円
	グラウンドソフトボール	2日	20人	832円
	ゴールボール	1日	12人	0円
計		49日	533人	3,459円

<令和7年度>

(令和7年9月30日現在)

施設	利用種目	利用日数 (延日数)	利用者数 (延人数)	備 考 (利用者負担電気料金)
運動場	グラウンドゴルフ	17日	134人	0円
	グラウンドソフトボール	6日	61人	0円
体育館	よさこい	5日	90人	1,172円
	フロアバレーボール	4日	33人	0円
	パラスポーツ	5日	54人	546円
計		37日	372人	1,717円

事務執行の根拠法令調

項 目	根拠法令
1 学校教育に関する こと	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第72条、第73条、第74条、第76条、第77条、第82条） 学校教育法施行規則 教育職員免許法（第1条、第2条、第3条、第3条の2） 学校保健安全法（第5条） 学校給食法（第1条、第2条、第3条、第4条） 特別支援学校の幼稚部及び高等部における学校給食に関する法律（第1条、第2条、第3条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立特別支援学校学則 静岡県就学支援委員会規則 特別支援学校幼稚部教育要領 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領 特別支援学校高等部学習指導要領
2 学校の管理・運営 に関すること	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 教育公務員特例法（第21条、第22条） 学校保健安全法（第15条、第23条、第27条） 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県立学校管理規則 静岡県教育委員会処務規程 静岡県教育委員会事務決裁規程 静岡県手数料徴収条例 特別支援学校への就学奨励に関する法律（第1条、第2条、第3条、第4条） 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行令 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行規則 特別支援教育就学奨励費負担金等及び要保護児童生徒援助費補助金交付要綱 要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱

職員調

(令和7年9月30日現在)

整理 番号	職名	氏名	事務分担	住 所	勤務年数 年 月	備 考
1	校長	田淵 尚子		〇〇〇	〇 . 〇	〇〇〇〇〇〇
2	教頭	中村 信之		〇〇〇	〇 . 〇	〇〇〇〇〇〇
3	事務長	植松 千草		〇〇〇	〇 . 〇	〇〇〇〇〇〇
4	教諭	今村 光宏	小学部	〇〇〇	〇 . 〇	〇〇〇〇〇〇
5	教諭	山本 敬子	幼稚部	〇〇〇	〇 . 〇	〇〇〇〇〇〇
6	教諭	杉山 充功	高等部	〇〇〇	〇 . 〇	〇〇〇〇〇〇
7	教諭	二村 力也	小学部	〇〇〇	〇 . 〇	〇〇〇〇〇〇
8	教諭	山形 和寛	中学部	〇〇〇	〇 . 〇	〇〇〇〇〇〇
9	教諭	根本 美恵	中学部	〇〇〇	〇 . 〇	〇〇〇〇〇〇
10	教諭	久松 幸子	中学部	〇〇〇	〇 . 〇	〇〇〇〇〇〇
11	教諭	櫻井 達也	高等部	〇〇〇	〇 . 〇	〇〇〇〇〇〇
12	教諭	柏木 雅章	幼小小学部主事	〇〇〇	〇 . 〇	〇〇〇〇〇〇
13	教諭	田村 茂美	小学部	〇〇〇	〇 . 〇	〇〇〇〇〇〇
14	教諭	仲山 剛義	高等部	〇〇〇	〇 . 〇	〇〇〇〇〇〇
15	教諭	井坂 あずさ	中学部主事	〇〇〇	〇 . 〇	〇〇〇〇〇〇
16	教諭	松本 太郎	高等部主任	〇〇〇	〇 . 〇	〇〇〇〇〇〇
17	教諭	山田 達也	小学部	〇〇〇	〇 . 〇	〇〇〇〇〇〇
18	教諭	川村 尚伸	小学部	〇〇〇	〇 . 〇	〇〇〇〇〇〇
19	教諭	川代 マリモ	小学部	〇〇〇	〇 . 〇	〇〇〇〇〇〇
20	教諭	平澤 明歩	小学部	〇〇〇	〇 . 〇	〇〇〇〇〇〇
21	教諭	丸山 由佳	小学部	〇〇〇	〇 . 〇	〇〇〇〇〇〇
22	教諭	千葉 裕太	中学部	〇〇〇	〇 . 〇	〇〇〇〇〇〇
23	教諭	屋 百合	高等部	〇〇〇	〇 . 〇	〇〇〇〇〇〇
24	教諭	山口 貴史	小学部	〇〇〇	〇 . 〇	〇〇〇〇〇〇
25	教諭	澁谷 健太	小学部	〇〇〇	〇 . 〇	〇〇〇〇〇〇
26	教諭	藤井 沙耶香	小学部	〇〇〇	〇 . 〇	〇〇〇〇〇〇
27	教諭	土井 真弓	中学部	〇〇〇	〇 . 〇	〇〇〇〇〇〇
28	教諭	早川 晃平	中学部	〇〇〇	〇 . 〇	〇〇〇〇〇〇
29	教諭	岡弥 美恵	幼稚部	〇〇〇	〇 . 〇	〇〇〇〇〇〇
30	教諭	前島 紗恵子	中学部	〇〇〇	〇 . 〇	〇〇〇〇〇〇
31	教諭	鈴木 奈々	小学部	〇〇〇	〇 . 〇	〇〇〇〇〇〇
32	養護教諭	陸山 みどり	養護	〇〇〇	〇 . 〇	〇〇〇〇〇〇
33	栄養教諭	稲木 優	給食	〇〇〇	〇 . 〇	〇〇〇〇〇〇

整理番号	職名	氏名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
34	主査	山本 学	管財・会計	□□□	□ . □	□□□□□
35	主任	工藤 佳奈	給与・庶務	□□□	□ . □	□□□□□
36	技能長	佐藤 長之	用務	□□□	□ . □	□□□□□
37	教諭(任)	本間 知恵	小学部	□□□	□ . □	□□□□□
平均年数					4 . 0	

職名	氏名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
教諭(臨)	松村 めぐみ	高等部	□□□	□ . □	□□□□□
教諭(臨)	谷田 和広	高等部	□□□	□ . □	□□□□□
実習助手(臨)	松本 久資	高等部	□□□	□ . □	□□□□□
会計年度任用職員 (非常勤職員)	石川 展之	高等部理療	□□□	□ . □	□□□□□
会計年度任用職員 (非常勤職員)	前田 敏昭	自立活動	□□□	□ . □	□□□□□
会計年度任用職員 (引当児童発達支援相談員)	木村 文香	発達支援相談	□□□	□ . □	□□□□□
学校医	岡田 隆	内科	□□□	□ . □	□□□□□
学校医	欠田 清身	眼科	□□□	□ . □	□□□□□
学校医	佐々木 豊	耳鼻科	□□□	□ . □	□□□□□
学校医	額川 功	整形外科	□□□	□ . □	□□□□□
学校歯科医	長谷川 靖典	歯科	□□□	□ . □	□□□□□
学校薬剤師	瀬角 梨恵	薬剤師	□□□	□ . □	□□□□□

職 員 の 年 齢 調

(令和7年9月30日現在)

年 齢	人 員	備 考
20歳未満	0	
20歳以上30歳未満	1	
30歳以上40歳未満	12	
40歳以上50歳未満	5	
50歳以上56歳未満	10	
56歳以上61歳未満	5	
61歳以上	4	
計	37	平均年齢 47.2歳

健康 管 理

1 前年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 37 人
	職員数 37 人
受 診 率	100 %
県平均受診率	100 %

(1) 未受診の理由

2 本年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		0人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	0人
B 2		要経過観察	0人
C 1	勤務をほぼ平常に行っており症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	0人
C 2		要経過観察	0人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	6(6)人
D 2		要経過観察	7(7)人
D 3		医 療 不 要	24(24)人
区 分 者 計			37人
未区分者数			0人
合 計			37人

(1) 管理区分A～C 2 該当者
に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア 産休・育休 人
イ 新規採用 人
ウ 自己都合による未受診 人
エ その他 () 人

歳 入 予 算

一般会計

区 分	調 定 額 A	収 入 予 算 額	
		納 期 内 B	納 期 後 C
款 14諸収入	円	円	円
	319,742	319,742	0
項 07雑入	319,742	319,742	0
目 02雑入	319,742	319,742	0
87保険料負担金	250,068	250,068	0
保険料負担金	6,592	6,592	0
非常勤職員	243,476	243,476	0
90雑収	69,674	69,674	0
雑収	33,674	33,674	0
臨床実習に係る実習料 金	36,000	36,000	0
計	319,742	319,742	0

執 行 状 況 調

(令和 6年度)

不 納 欠 損 額 D	収 入 未 済 額			収 入 歩 合	納 期 内 収 入 率
	納 期 限 経 過 E	納 期 限 未 到 来 F	計	$\frac{B+C}{A-D-F}$	$\frac{B}{A-D-F}$
円	円	円	円	%	%
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0

歳 入 予 算

一般会計

区 分	調 定 額 A 円	収 入 資 額	
		納 期 内 B 円	納 期 後 C 円
款 14諸収入	37,470	37,470	0
項 07雑入	37,470	37,470	0
目 02雑入	37,470	37,470	0
90保険料負担金	23,287	23,287	0
非常勤職員	23,287	23,287	0
93雑収	14,183	14,183	0
計	37,470	37,470	0

執 行 状 況 調

(令和 7年度)
(令和 7年 9月30日現在)

不 納 欠 損 額 D	収 入 未 済 額			収 入 歩 合 $\frac{B+C}{A-D-F}$	納 期 内 収 入 率 $\frac{B}{A-D-F}$
	納 期 限 経 過 E	納 期 限 未 到 来 F	計		
円	円	円	円	%	%
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0

現金 出 納 調

沼津視覚特別支援学校

(令和 6年度)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及び枚数	現金払込調書 額収書及び枚数
	越 高	受 高	計				
雑入	円 0	円 41,640	円 41,640	円 41,640	円 0	円 41,640 67 枚	円 41,640 67 枚
計	円 0	円 41,640	円 41,640	円 41,640	円 0	円 41,640 67 枚	円 41,640 67 枚

現金 出 納 調

沼津視覚特別支援学校

(令和 7年度)

(令和 7年 9月30日現在)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及び枚数	現金払込調書 額収書及び枚数
	越 高	受 高	計				
雑入	円 0	円 760	円 760	円 760	円 0	円 760 1 枚	円 760 1 枚
計	円 0	円 760	円 760	円 760	円 0	円 760 1 枚	円 760 1 枚

預 金 調

(令和7年9月30日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 (円)	摘 要
スルガ銀行 沼津セントラル支店	無利息型 普通預金	2530640	(自振口) 沼津視覚特別支援学校 資金前渡者 田渕尚子	0	財務会計 自動口座振替用
スルガ銀行 沼津セントラル支店	無利息型 普通預金	2530639	沼津視覚特別支援学校 資金前渡者 田渕尚子	0	給与及び財務会計 資金前渡用
スルガ銀行 沼津セントラル支店	無利息型 普通預金	604056	沼津視覚特別支援学校 奨励費代理受領者 田渕尚子	0	就学奨励費用
残 高 合 計				0	

歳入歳出外現金調

県立特別支援校 沼津視覚特支

(令和 6年度)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	簡 要
公立学校共済組合掛金等	円 0	円 120,164	円 120,164	円 0	
教職員互助組合掛金等	0	10,312	10,312	0	
所得税	4,417	95,375	99,792	0	
県市町村民税	3,200	37,500	40,700	0	
計	7,617	263,351	270,968	0	

歳入歳出外現金調

県立特別支援校 沼津視覚特支

(令和 7年度)

(令和 7年 9月30日現在)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	簡 要
公立学校共済組合掛金等	円 0	円 23,044	円 23,044	円 0	
教職員互助組合掛金等	0	3,547	3,547	0	
所得税	0	51,688	51,688	0	
県市町村民税	0	31,200	24,300	6,900	
計	0	109,479	102,579	6,900	

歳出予算執行状況調

(令和6年度)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 11 教育費	36,537,052	36,537,052	0	
項 02 教育委員会費	4,007,336	4,007,336	0	
目 02 教育総務費	233,344	233,344	0	
01 報酬	132,240	132,240	0	
03 非常勤職員報酬	132,240	132,240	0	
03 職員手当等	85,244	85,244	0	
01 その他の職員手当等	85,244	85,244	0	
04 共済費	15,860	15,860	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	15,860	15,860	0	
目 03 教育管理費	3,653,992	3,653,992	0	
08 旅費	5,060	5,060	0	
02 普通旅費	5,060	5,060	0	
10 需用費	2,509,112	2,509,112	0	
01 その他の需用費	2,509,112	2,509,112	0	
11 役務費	56,760	56,760	0	
14 工事請負費	1,083,060	1,083,060	0	
目 04 教育厚生費	120,000	120,000	0	
01 報酬	120,000	120,000	0	
03 非常勤職員報酬	120,000	120,000	0	
項 07 特別支援学校費	22,883,244	22,883,244	0	
目 01 特別支援学校費	5,452,061	5,452,061	0	
01 報酬	1,182,793	1,182,793	0	
03 非常勤職員報酬	1,182,793	1,182,793	0	
04 共済費	3,487,352	3,487,352	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	3,487,352	3,487,352	0	
08 旅費	781,916	781,916	0	
01 その他の旅費	9,495	9,495	0	
02 普通旅費	772,421	772,421	0	

県立特別支援校 沼津視覚特支

Z1B0030
Z1R0030

(令和 5年度)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	備 考
目 02 特別支援学校管理費	円 17,431,183	円 17,431,183	円 0	
01 報酬	1,092,000	1,092,000	0	
03 非常勤職員報酬	1,092,000	1,092,000	0	
07 報償費	127,000	127,000	0	
01 その他の報償費	127,000	127,000	0	
08 旅費	1,075,910	1,075,910	0	
01 その他の旅費	10,002	10,002	0	
02 普通旅費	1,065,908	1,065,908	0	
10 需用費	8,673,873	8,673,873	0	
01 その他の需用費	8,673,528	8,673,528	0	
02 食糧費	345	345	0	
11 役務費	1,002,288	1,002,288	0	
12 委託料	1,128,490	1,128,490	0	
13 使用料及び賃借料	345,419	345,419	0	
17 備品購入費	1,350,338	1,350,338	0	
18 負担金、補助及び交付金	45,500	45,500	0	
19 扶助費	2,590,365	2,590,365	0	
項 08 学校教育費	9,646,472	9,646,472	0	
目 03 特別支援教育費	2,975,687	2,975,687	0	
01 報酬	1,629,744	1,629,744	0	
03 非常勤職員報酬	1,629,744	1,629,744	0	
03 職員手当等	810,580	810,580	0	
01 その他の職員手当等	810,580	810,580	0	
04 共済費	488,073	488,073	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	488,073	488,073	0	
08 旅費	47,290	47,290	0	
01 その他の旅費	47,290	47,290	0	
目 04 健康体育費	6,670,785	6,670,785	0	

Z1B0030
Z1RB0030

県立特別支援校 沼津視覚特支

(令和 6年度)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
11 役務費	51,260	51,260	0	
12 委託料	6,619,525	6,619,525	0	
計	36,537,052	36,537,052	0	

県立特別支援校 沼津視覚特支

Z1B0030
Z1RB0030

3

歳出予算執行状況調

(令和 7年度)

(令和 7年 9月30日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
款 12教育費	円 33,600,200	円 11,517,109	円 22,083,091	
項 02教育委員会費	2,885,080	678,920	2,206,160	
目 03教育管理費	2,765,080	678,920	2,086,160	
10需用費	837,000	674,520	162,480	
01その他の需用費	837,000	674,520	162,480	
11役務費	58,080	4,400	53,680	
14工事請負費	1,870,000	0	1,870,000	
目 04教育厚生費	120,000	0	120,000	
01報酬	120,000	0	120,000	
03非常勤職員報酬	120,000	0	120,000	
項 07特別支援学校費	20,587,545	7,270,028	13,317,517	
目 01特別支援学校費	5,644,705	3,003,199	2,641,506	
01報酬	1,254,000	611,657	642,343	
03非常勤職員報酬	1,254,000	611,657	642,343	
04共済費	3,459,000	1,580,916	1,878,084	
02報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	3,459,000	1,580,916	1,878,084	
08旅費	931,705	810,626	121,079	
01その他の旅費	196,705	75,644	121,061	
02普通旅費	735,000	734,982	18	
目 02特別支援学校管理費	14,942,840	4,266,829	10,676,011	
01報酬	1,135,000	21,000	1,114,000	
03非常勤職員報酬	1,135,000	21,000	1,114,000	
07報償費	176,000	55,000	121,000	
01その他の報償費	176,000	55,000	121,000	
08旅費	1,179,440	125,335	1,054,105	
01その他の旅費	14,440	2,160	12,280	
02普通旅費	1,165,000	123,175	1,041,825	
10需用費	6,673,500	1,981,603	4,691,897	

県立特別支援校 沼津視覚特支

Z1B0030
Z1RB0030

一般会計

(令和 7年度)
(令和 7年 9月30日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
01 その他の需用費	6,673,500	1,981,603	4,691,897	
11 役務費	861,000	450,398	410,602	
12 委託料	915,900	373,175	542,725	
13 使用料及び賃借料	330,000	171,941	158,059	
18 負担金、補助及び交付金	71,000	62,100	8,900	
19 扶助費	3,601,000	1,026,277	2,574,723	
項 08 学校教育費	10,127,575	3,568,161	6,559,414	
目 03 特別支援教育費	3,383,140	783,863	2,605,277	
01 報酬	2,002,152	445,326	1,556,826	
03 非常勤職員報酬	2,002,152	445,326	1,556,826	
03 職員手当等	789,666	228,946	560,720	
01 その他の職員手当等	789,666	228,946	560,720	
04 共済費	463,000	93,920	369,080	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	463,000	93,920	369,080	
08 旅費	134,322	15,671	118,651	
01 その他の旅費	134,322	15,671	118,651	
目 04 健康体育費	6,738,435	2,784,298	3,954,137	
11 役務費	32,780	18,480	14,300	
12 委託料	6,705,655	2,765,818	3,939,837	
計	33,600,200	11,517,109	22,083,091	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節 名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					5年度	6年度	左のうち、5年度からの繰越額
(12) 委託料	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		1,128,490	0
	一般会計	教育費	学校教育費	健康体育費		6,619,525	0
							0
計					7,084,715	7,748,015	0
(14) 工事請負費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費		1,083,060	0
							0
							0
計					5,786,000	1,083,060	0
(16) 公有財産購入費						0	0
							0
							0
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		1,350,338	0
							0
							0
計					1,180,850	1,350,338	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		45,600	0
							0
							0
計					63,700	45,600	0
(21) 補償、補填及び賠償金						0	0
							0
							0
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年9月30日現在)

節 名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
					うち、6年度からの繰越額分	
(12) 委託料	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	373,176	0
	一般会計	教育費	学校教育費	健康体育費	2,766,818	0
					3,138,993	0
計						
(14) 工事請負費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	0	0
					0	0
計					0	0
(16) 公有財産購入費					0	0
					0	0
計					0	0
(17) 備品購入費					0	0
					0	0
計					0	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	62,100	0
計					62,100	0
(21) 補償、補填及び賠償金					0	0
計					0	0

委託料に関する調

(令和6年度)

帳簿 番号	委託業務名	受託者	当初 予算金額	契約金額			契約締結 方法	契約期間	支出 年月日	余額	委託業務 の内容	備 考
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務用品) 給食業務	シダックス大新 米センター サービス部中 部第二支店	円 19,810,000	円 19,810,000	円	円 19,810,000	一般	R5.8.4 R5.7.31	R6.5.31 R6.6.28 R6.7.31 R6.8.30 R6.9.25 R6.10.22 R6.11.21 R6.12.20 R7.1.23 R7.2.21 R7.3.21 R7.4.25	円 (4,160,000) 522,500 522,500 522,500 522,500 522,500 522,500 522,500 522,500 522,500 522,500 522,500 522,500	学校給食の 調理及び配 膳等	R5長期
2	トイレ清掃業務	サインズ時	332,640	332,640		332,640	随契	R6.4.19 R7.3.31	R6.5.24 R6.6.25 R6.7.25 R6.8.23 R6.9.17 R6.10.18 R6.11.20 R6.12.16 R7.1.17 R7.2.14 R7.3.14 R7.4.25	27,720 27,720 27,720 27,720 27,720 27,720 27,720 27,720 27,720 27,720 27,720 27,720	校内トイレ清 掃	随契3号 (福祉関係 施設等)
3	沼津視覚特別支 援学校外1校防 震・防災業務	株式会社美岐	239,800	239,800		239,800	随契	R6.4.15 R7.3.31	R6.5.31 R6.6.25 R6.7.25 R6.8.23 R6.9.13 R6.10.11 R6.11.14 R6.12.13 R7.1.17 R7.2.14 R7.3.17 R7.4.25	11,000 11,000 11,000 64,900 11,000 11,000 11,000 11,000 11,000 11,000 11,000 64,900	障、手書き 等の衛生き 血の要除及 18点検案	随契1号 (少額) 沼津視覚特 別支援学校
4	厨房グリストラ ップ増設及び廃 棄物収集・運搬業務	三友水処理時	97,350	97,350		97,350	随契	R6.7.24 R7.3.31	R6.8.15 R7.1.17 R7.4.25	19,350 68,850 19,250	厨房グリス トアップ増設 及び汚泥 収集・運搬	随契1号 (少額)
5	産業廃棄物処分	クリーンサービ ス時	処分料 1kg 27.5円	処分料 1kg 27.5円		処分料 1kg 27.5円	随契	R6.7.24 R7.3.31	R6.8.16 R7.1.17 R7.4.25	3,025 6,325 3,025	厨房グリス トアップ増設 の汚泥処分	随契1号 (少額) 単価契約
6	厨房清掃業務	樹カンサイ	196,460	196,460		196,460	随契	R6.7.24 R7.3.31	R6.8.19 R7.1.27 R7.4.25	93,720 51,370 51,370	厨房及び下 処理室の設 備の清掃	随契1号 (少額)

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 契約金額	契 約 金 額			契約締結 方 法	契約期間	支 出 年 月 日	金 額	委託業務 の内容	備 考
				当初額	変更増減額	計						
7	自家用電気工作 物保安管理業務	藤野電気管理 事務所	267,850	267,850		267,850	随契	R6.4.1 R7.3.31	R6.5.28 R6.6.17 R6.7.26 R6.8.14 R6.9.17 R6.10.11 R6.11.14 R6.12.13 R7.1.17 R7.2.14 R7.3.14 R7.4.26	20,350 20,350 20,350 20,350 44,000 20,350 20,350 20,350 20,350 20,350 20,350 20,350	自家用電気 工作物の保 守点検	随契1号 (少額)
									小計	267,850		
8	産業廃棄物収 集・運搬及び処 分業務	関東部処理	39,600	39,600		39,600	随契	R6.7.1 R6.9.30	R6.9.12	39,600	混合廃棄物 の収集・運搬 及び処分	随契1号 (少額)
9	産業廃棄物収 集・運搬及び処 分業務	関東部処理	88,000	88,000		88,000	随契	R6.11.1 R7.1.31	R6.12.17	88,000	混合廃棄物 の収集・運搬 及び処分	随契1号 (少額)
10	産業廃棄物収 集・運搬及び処 分業務	関東部処理	88,000	88,000		88,000	随契	R7.2.13 R7.3.31	R7.4.18	88,000	混合廃棄物 の収集・運搬 及び処分	随契1号 (少額)
11	産業廃棄物収 集・運搬及び処 分業務	株式会社	62,700	62,700		62,700	随契	R6.11.6 R7.3.31	R6.12.9	62,700	廃棄物・廃 棄電池の収 集・運搬及び 処分	随契1号 (少額)
12	昇降機定期点検 業務	関東部環境技 術	53,240	53,240		53,240	随契	R6.4.29 R7.3.31	R7.1.7	53,240	車いす用昇 降機の定期 点検	随契1号 (少額)
	事務関係計	12件								7,748,015		
	合 計	12件								7,748,015		

型 号 番 号	委託業務名	受託者	設計金額	契約金額			契約締結 方法	契約期間	支出 年月日	金額	委託業務 の内容	備 考
				当初額	変更増減額	計						
参考 1	沼津西高等学校 外11校プール浄 化装置保守点検 業務	三友水処理所		186,000		186,000		R6.4.11 R6.11.30			プール浄化 装置保守点 検	沼津西高等 学校
参考 2	沼津城北高等学 校外6校可燃物 収集装置処置業 務	南大井商會		運搬料 1回25,440円 処分料 1kg 6.82円		運搬料 3回26,430円 処分料 1kg 6.82円		R6.4.12 R7.3.31			一般廃棄物 の回収	沼津城北高 等学校
参考 3	沼津工業高等学 校外7校消防用 設備等保守点検 業務	興隆興産		4,180,000		4,180,000		R6.4.1 R7.3.31			消防用設備 の保守点検	沼津工業高 等学校
参考 4	沼津高等学校 外8校警備業務	セコム㈱		8,316,000		8,316,000		R1.10.1 R6.9.30			機銃警備	沼津高等学 校 1学期
参考 5	沼津東高等学校 外8校警備業務	セコム㈱		17,820,000		17,820,000		R6.10.1 R11.9.30			機銃警備	沼津東高等 学校 1学期
参考 6	沼津商業高等学 校外4校ガスヒ ートポンプ・ア コン点検業務	調エアース株式 会社		1,639,000		1,639,000		R6.7.9 R8.9.30			ガスヒート ポンプ・ア コンの点検	沼津商業高 校
参考 7	建築基準法第12 条に基づく定期 点検業務	(有)一般建築 士事務所 アド ス設計室		1,694,000		1,694,000		R6.8.19 R7.2.28			建築基準法 第12条に基 づく定期点 検業務	沼津西高校
	計	7件										

委託料に関する調

(令和7年度)

(令和7年9月30日現在)

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額 円	契約金額			契約締結 方法	契約期間	支出 年月日	金 額 円	委託業務 の内容	備 考
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 給食業務	シダックス 大和東 ヒューマン サービス㈱ 中野第二支 店	1,880,000	18,810,000	23,141	18,833,141	一般	R5.8.4 R6.7.31	R7.5.27 R7.6.25 R7.7.23 R7.8.22 R7.9.22	(0,287,380) 524,029 523,941 523,941 523,941	学校給食の 調理及び配 膳等	R5長期
2	サイン簿封条補	サインズ㈱	346,600	346,500		346,500	随契	R7.4.18 R8.3.31	R7.6.23 R7.6.20 R7.7.22 R7.8.21 R7.9.22	28,875 28,876 28,876 28,876 28,875	校内トイレ 清掃	随契3号 (福祉関係 施設等)
3	沼津市立特別支 援学校外1校防 風・防虫業務	㈱三島長装	283,600	256,300		256,300	随契	R7.4.16 R8.3.31	R7.5.23 R7.6.20 R7.7.22 R7.8.23 R7.9.25	12,650 12,650 12,650 41,250 36,300	風、ゴキブリ 等の衛生害 虫の駆除及 び点検調査	随契1号 (少額) 沼津市立特 別支援学校
4	厨房グリストラ ップ清掃及び底 土廃棄物収集・ 運搬業務	三友水処理 ㈱	132,000	121,000		121,000	随契	R7.7.23 R8.3.31	R7.8.16	27,500	厨房グリス トラップ槽の 清掃及び汚 泥収集・運 搬	随契1号 (少額)
5	産業廃棄物処分	クリーン サービス㈱	処分料 1kg 27.5円	処分料 1kg 27.5円		処分料 1kg 27.5円	随契	R7.7.23 R8.3.31	R7.8.19	3,025	厨房グリス トラップ槽の 汚泥処分	随契1号 (少額) 単価契約
6	厨房清掃業務	㈱カンサイ	206,800	206,800		206,800	随契	R7.7.23 R8.3.31	R7.8.27	101,200	厨房及び下 処理室の設 備の清掃	随契1号 (少額)
7	自家用電気工作 物安全管理業務	藤野電気管 理事務所	290,950	273,900		273,900	随契	R7.4.1 R8.3.31	R7.5.27 R7.6.20 R7.7.22 R7.8.21 R7.9.22	20,900 20,900 20,900 20,900 44,000	自家用電気 工作物の保 守点検	随契1号 (少額)
	事務関係計	7件								3,138,093		
	合 計	7件								3,138,093		
参考 1	沼津市立高等学 校外10校プール 浄化装置保守点 検業務	三友水処理 ㈱		183,700		183,700		R7.4.11 R7.11.28			プール浄化 装置保守点 検	沼津市立高 等学校
参考 2	沼津市立高等学 校外6校可燃物 収集運搬処理業 務	㈱大政商会		運搬料 1回 26,410円 処分料 1kg 6.82円		運搬料 1回 26,410円 処分料 1kg 6.82円		R7.4.8 R8.3.31			一般廃棄物 の回収	沼津市立高 等学校
参考 3	沼津工業高等学 校外7校消防用 設備等保守点検 業務	㈱藤原産業		4,378,000		4,378,000		R7.4.1 R8.3.31			消防用設備 の保守点検	沼津工業高 等学校
参考 4	沼津市立高等学 校外8校警備業務	セコム㈱		17,820,000		17,820,000		R6.10.1 R11.9.20			警備業務	沼津市立高 等学校 1長期
参考 5	沼津市立高等学 校外4校ガスヒ ートポンプ・エア コン点検業務	(有)加藤空 調サービス		641,960		641,960		R7.7.18 R7.9.30			ガスヒート ポンプ・エア コンの点検	沼津市立高 等学校
参考 6	建築基準法第12 条に基づく定期 点検業務	佐藤設計工 務所		1,650,000		1,650,000		R7.7.25 R8.3.20			建築基準法 第12条に基 づく定期点 検業務	沼津市立高 等学校
	計	6件										

負担金支出調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額 円	支出年月日
1	中部地区盲学校長会会費	中部地区盲学校長会	会則による	年会費 1人分	3,000	R6.5.29
2	全日本盲学校教育研究会参加費	全日本盲学校教育研究会	開催通知による	参加費 3人分	10,500	R6.6.28
3	全国盲学校副校長・教頭会総会並びに研究協議会参加費	全国盲学校副校長・教頭会	開催通知による	参加費 1人分	2,000	R6.7.1
4	中部地区盲学校副校長・教頭会会費	中部地区盲学校副校長・教頭会	会則による	年会費 1人分	1,000	R6.7.1
5	全国盲学校長会会費	全国盲学校長会	会則による	年会費 1人分	20,000	R6.7.26
6	全国盲学校副校長・教頭会会費	全国盲学校副校長・教頭会	会則による	年会費 1人分	3,000	R6.8.21
7	全国盲学校長会研究協議会参加費	全国盲学校長会	開催通知による	参加費 1人分	6,000	R6.9.12
計		7 件			45,500	

負担金支出調

(令和7年度)

(令和7年9月30日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額 円	支出年月日
1	甲種防災管理新規講習受講料	一般財団法人日本防火・防災協会	開催通知による	受講料 1人分	8,000	R7.4.23
2	中部地区盲学校長会会費	中部地区盲学校長会	会則による	年会費 1人分	3,000	R7.5.29
3	全国盲学校副校長・教頭会総会並びに研究協議会参加費	全国盲学校副校長・教頭会	開催通知による	参加費 1人分	2,000	R7.6.30
4	中部地区盲学校副校長・教頭会会費	中部地区盲学校副校長・教頭会	会則による	年会費 1人分	1,000	R7.7.4
5	全日本盲学校教育研究会大会参加費	全日本盲学校教育研究会	開催通知による	参加費 3人分	10,500	R7.7.18
6	筑波大学公開講座受講料	国立大学法人筑波大学	開催通知による	参加費 1人分	8,600	R7.7.25
7	全国盲学校長会会費	全国盲学校長会	会則による	年会費 1人分	20,000	R7.7.25
8	全国盲学校副校長・教頭会年会費	全国盲学校副校長・教頭会	会則による	年会費 1人分	3,000	R7.8.27
9	全国盲学校長会研究協議会参加費	全国盲学校長会	開催通知による	参加費 1人分	6,000	R7.9.9
計		9 件			62,100	

工 築 建

整理 番号	予算科目	工事名	工事箇所	当初設計金額	契 約 金	
					当初額	変更増減額
1	教育管理費	寄宿舎厨房屋上換気扇更新工事	沼津市米山町 地内	円 726,000	円 698,060	円 0
2	教育管理費	PCB含有機器更新工事	沼津市米山町 地内	円 495,000	円 385,000	円 0
		合 計	2件	1,221,000	1,083,060	0

(参考)

1	教育管理費	令和6年度 沼津視覚特別支援学校南館屋 上防水・外壁改修工事	沼津市米山町 地内	円 30,503,000	円 29,590,000	円 1,496,000
2	教育管理費	令和6年度 沼津視覚特別支援学校本館1・2 階改修ほか工事	沼津市米山町 地内	円 19,998,000	円 19,789,000	円 -539,000
		合 計	2件	50,501,000	49,379,000	957,000

工 築 建

整理 番号	予算科目	工事名	工事箇所	当初設計金額	契 約 金	
					当初額	変更増減額
1	教育管理費	自動火災報知設備ほか更新工事	沼津市米山町 地内	円 1,870,000	円 1,870,000	円 0
		合 計	1件	1,870,000	1,870,000	0

事

調

(令和6年度)

額 計	契約 締結 方法	受注者	着 完 成 (予 定) 年 月 日	支出済額	工事概要	公有財産 台 帳	摘 要
円 698,060	随契	㈱レイダン	着手 R6.8.26 完成 R6.12.24	円 698,060	寄宿舎厨房屋上換気扇更新	—	随契1号(少額) 令達R6.8.15 支払R7.1.27
円 385,000	随契	㈱鈴木電気商会	着手 R6.11.18 完成 R7.3.28	円 385,000	高圧コンデンサ取替更新 既設コンデンサ採油及び PCB分析	—	随契1号(少額) 令達R6.6.27、 R6.10.29 支払R7.4.23
1,083,060				1,083,060			

円 31,086,000	一般	(有)サツライ	着手 R6.6.14 完成 R6.10.25	円 31,086,000	南館屋上防水・外壁改修	—	本庁経理 沼津土木事務所
円 19,250,000	指名	東工業㈱	着手 R6.6.25 完成 R6.9.27	円 19,250,000	本館トイレ改修	—	本庁経理 沼津土木事務所
50,336,000				50,336,000			

事

調

(令和7年度)

(令和7年9月30日現在)

額 計	契約 締結 方法	受注者	着 完 成 (予 定) 年 月 日	支出済額	工事概要	公有財産 台 帳	摘 要
円 1,870,000	随契	㈱藤興産	着手 R7.9.17 完成予定 R8.2.27	円	自動火災報知設備及び 誘導灯更新	—	随契1号(少額) 令達R7.7.16
1,870,000							

公 有 財 産 調

(令和6年度)

区分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年3月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 1,428,062		千円		千円 53,814		千円 1,374,248	
土 地	m ² 8,729.84	1,234,811					m ² 8,729.84	1,234,811	
立木竹	本 109	1,943	本		2	22	本 107	-1,921	
建 物	m ² 2,280.53 4,780.31	106,155				39,504	m ² 2,280.53 4,780.31	66,651	
工作物	個 85	85,153	個			14,288	個 85	70,865	
公有財産に準ずるもの		161						161	
電 話 加入権	件 5	161					件 5	161	

公 有 財 産 調

(令和7年度)

(令和7年9月30日現在)

区分	令和7年8月31日現在		増		減		令和7年9月30日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 1,374,248		千円		千円		千円 1,374,248	
土 地	m ² 8,729.84	1,234,811					m ² 8,729.84	1,234,811	
立木竹	本 107	1,921					本 107	1,921	
建 物	m ² 2,280.53 4,780.31	66,651					m ² 2,280.53 4,780.31	66,651	
工作物	個 85	70,865					個 85	70,865	
公有財産に準ずるもの		161						161	
電 話 加入権	件 5	161					件 5	161	

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和7年度)

(令和7年9月30日現在)

区分	事業名又は契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)				
				2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
長期継続契約	電子複写機賃借	電子複写機2台を5年間賃借する (契約日) 2.4.1	676,500	円 135,300	円 135,300	円 135,300	円 135,300	円 135,300

区分	事業名又は契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)				
				7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
長期継続契約	電子複写機賃借	電子複写機2台を5年間賃借する (契約日) 7.4.1	958,700	円 190,740	円 190,740	円 190,740	円 190,740	円 190,740

区分	事業名又は契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)			
				5年度	6年度	7年度	8年度
長期継続契約	給食業務委託	給食調理、配膳等の業務を委託する (契約日) 5.8.4	18,833,144	円 4,180,000	円 6,270,000	円 6,287,380	円 2,095,764

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年9月30日現在)

整理 番号	区 分	種 別	所在地	地 目		数 量 又 は 面 積	貸付料又は 使 用 料		貸付又は 使用許可 期 間	貸付又は使用 許可を受けた 者の氏名	貸 付 ・ 使用許可 目 的
				台帳	現況		単価	年額			
1	建 物 建 物 土	事務所 建 事務所 建 物	沼津市米山町 6-20	RC	3F	㎡	円	円	7.4.1～ 12.3.31	沼津市長	デジタル地 域防災無線 設置
						0.35		免除			
						㎡	円	円	7.4.1～ 12.3.31		同報無線戸 別受信機設 置
						0.08		免除			
2	土 地	学校敷地	沼津市米山町 6-20			㎡	円	円	7.4.1～ 12.3.31	沼津市第五地区東 連合自治会長	防災倉庫設 置
3	土 地	学校敷地	沼津市米山町 6-20			㎡ (4.6m)	円	円	7.4.1～ 12.3.31	沼津市長	公共橋・取 付管設置
4	土 地	学校敷地	沼津市米山町 6-20			㎡	円	円	7.4.1～ 12.3.31	東京電力パワーグ リッド静岡岡崎支 社長	電気供給用 配電箱設置
5	建 物 土 地	住宅 建 学校敷地	沼津市米山町 6-20	RC	2F	㎡	円	円	6.4.1～ 9.3.31	東部社会教育振興 協議会長	事務室設置
						11.50		免除			駐車場利用
6	土 地	学校敷地	沼津市米山町 6-20			㎡	円	円	7.4.1～ 12.3.31	沼津市長	防災倉庫設 置
7	土 地	学校敷地	沼津市米山町 6-20			㎡	円	円	7.4.1～ 12.3.31	沼津市長	避難地案内 看板設置
						0.79		免除			
						㎡	円	円	7.4.1～ 12.3.31		避難地表示 看板設置
						0.60		免除			
8	建 物 土	住宅 建	沼津市米山町 6-20	RC	2F	㎡	円	円	7.4.1～ 12.3.31	沼津市長	避難所分散 備蓄用品、 災害時感染 症対策用品 の配備
9	土 地	学校敷地	沼津市米山町 6-20			本	円	円	7.4.1～ 12.3.31	西日本電信電話株 式会社静岡支店長	電話本柱
合 計								円			

備品・図書調

1 / 3 頁

(令和 6年度)

所属 0000230113 県立特別支援学校 沼津視覚特別支援学校

区 分	令和 6年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 3月31日 現在
		数 量	購入価格 (円)	数 量	売却価格 (円)	
01-01 机類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-02 台類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-04 収納保管庫類	24	(0) 0	0	(0) 0	0	24
01-05 印刷機器類	3	(0) 0	0	(0) 1	0	2
01-06 印字器具類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
01-07 書類整理器具類	5	(0) 0	0	(0) 1	0	4
01-10 印判類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-11 照明器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-12 寝具類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-13 厨房器具類	18	(0) 4	1,023,000	(0) 1	0	21
01-14 冷暖房器具類	27	(0) 0	0	(0) 1	0	26
01-99 その他の庁用器具類	8	(0) 0	0	(0) 0	0	8
02-01 情報処理機器類	132	(6) 7	170,038	(0) 18	0	121
02-02 情報伝達機器類	7	(0) 0	0	(0) 1	0	6
02-03 再生機器類	3	(0) 0	0	(0) 1	0	2
03-01 撮影機器類	2	(0) 0	0	(0) 1	0	1
03-02 視察・視測用光学機器類	3	(0) 0	0	(0) 1	0	2
03-03 視覚用再生等機器類	12	(0) 0	0	(0) 2	0	10
03-99 その他の多変光学視覚機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1

ZH00040
ZHB0040

備品・図書調

(令和 6年度)

所属 0000230113 県立特別支援学校 沼津視覚特別支援学校

区 分	令和 6年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 3月31日 現在
		数 量	購入価格 (円)	数 量	売却価格 (円)	
04-01 診療・診断用機器類	14	(0) 0	0	(0) 5	0	9
04-02 衛生検査用機器類	4	(0) 0	0	(0) 1	0	3
04-03 看護用機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
04-05 機能回復訓練機器類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
04-06 獣医用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-03 電気試験計測機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
05-08 度量衡測定機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-10 身体測定用機器類	1	(0) 0	0	(0) 1	0	0
05-99 その他の試験計測機器類	1	(0) 1	157,300	(0) 1	0	1
06-04 電気電子機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
07-01 農産用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
08-99 その他の給車類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
09-01 標本美術品	18	(0) 0	0	(0) 2	0	18
10-01 国語用器具類	7	(0) 0	0	(0) 4	0	3
10-03 社会用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
10-05 生物物理化学用器具類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
10-07 音楽用器具類	16	(0) 0	0	(0) 0	0	16
10-12 体育保健用器具類	10	(0) 0	0	(0) 0	0	10
10-99 その他の教育用器具類	8	(0) 0	0	(0) 1	0	7

ZMR0040
ZMR0040

備品・図書調

3 / 3 頁

(令和 6年度)

所属 0000230113 県立特別支援学校 沼津視覚特別支援学校

区 分	令和 6年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 3月31日 現在
		数 量	購入価格 (円)	数 量	売却価格 (円)	
12-01 雑機器	10	(0) 0	0	(0) 0	0	10
計	374	(6) 12	1,350,338	(0) 43	0	343

ZMB0040
ZHRB0040

備品・図書調

1 / 2 頁

(令和 7年度)

所属 0000230113 県立特別支援学校 沼津視覚特別支援学校

区 分	令和 7年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 9月30日 現在
		数 量	購入価格 (円)	数 量	売却価格 (円)	
01-01 机類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-02 台類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-04 収納保管庫類	24	(0) 0	0	(0) 0	0	24
01-05 印刷機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-06 印字器具類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
01-07 書類整理器具類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-10 印刷類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-11 照明器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-12 寝具類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-13 厨房器具類	21	(0) 0	0	(0) 0	0	21
01-14 冷暖房器具類	26	(0) 0	0	(0) 0	0	26
01-99 その他の庁用器具類	8	(0) 0	0	(0) 0	0	8
02-01 情報処理機器類	121	(0) 0	0	(0) 0	0	121
02-02 情報伝達機器類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
02-03 再生機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
03-01 撮影機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
03-02 観察・観測用光学機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
03-03 視覚用再生等機器類	10	(0) 0	0	(0) 0	0	10
03-99 その他の写真光学視覚機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1

7MR0040

7MR00040

備品・図書調

2 / 2 頁

(令和 7年度)

所属 0000230113 県立特別支援学校 沼津視覚特別支援学校

区 分	令和 7年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 9月30日 現在
		数 量	購入価格 (円)	数 量	売却価格 (円)	
04-01 診療・診断用機器類	9	(0) 0	0	(0) 0	0	9
04-02 衛生検査用機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
04-03 看護用機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
04-05 機能回復訓練機器類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
04-06 獣医用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-03 電気試験計測機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
05-08 度量衡測定機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-99 その他の試験計測機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
06-04 電気電子機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
07-01 農産用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
08-99 その他の船舶類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
09-01 標本美術品	16	(0) 0	0	(0) 0	0	16
10-01 国語用器具類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
10-03 社会用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
10-05 生物物理化学用器具類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
10-07 音楽用器具類	16	(0) 0	0	(0) 0	0	16
10-12 体育保健用器具類	10	(0) 0	0	(0) 0	0	10
10-99 その他の教育用器具類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
12-01 雑機器	10	(0) 0	0	(0) 0	0	10
計	343	(0) 0	0	(0) 0	0	343

ZMR0040
ZMR0040

主 要 備 品 調

(令和7年9月30日現在)

整理 番号	区 分		品名・規格	利用状況	購入年月	購入金額 円
	大・中	小				
1	9-1	展示品	点字教材制作 ブレイルマスターJD-602	展示中、視覚障害者支援機 器として授業や見学時に紹介	昭和59年3月	9,300,000
2	2-1	パーソナルコンピュータ 周辺機器	点字プリンター 日本テレソフトBPW-32	授業及び教材・管理運営用資 料作成、年間200日使用	平成13年3月	1,795,500
3	4-1	その他の一般機器	干渉・吸引低周波治療器 ミナト医科学SK-7W	理療科授業用 年間300時数の中で使用	平成10年3月	1,774,500
4	1-13	調理器具	調理器具 真空冷却機 三浦工業 JS-20QE	学校給食調理用 年間190日使用	平成23年3月	1,569,750
5	2-1	レーザープリンター・ス キャナ	インクジェットプリンター 点字・墨字同時作成	授業及び教材・管理運営用資 料作成、年間200日使用	平成25年3月	1,475,250
6	2-1	パーソナルコンピュータ 周辺機器	点字プリンター 日本テレソフトDOC-Multi	授業及び教材・管理運営用資 料作成、年間200日使用	令和3年3月	1,393,700
7	2-2	放送装置	放送装置 校内放送設備	チャイム・非常放送用 毎日使用	平成25年3月	1,249,500
8	2-2	その他の情報伝達機器	学校教育用50インチプラズマ電子 情報ボード	授業用 年間160日使用	平成21年2月	1,089,935
9	9-1	展示品	点字製版機 小林鉄工 足踏式	展示中、視覚障害者支援機 器として授業や見学時に紹介	昭和53年3月	1,050,000
10	1-99	その他の序用器具	階段昇降機 サンワSA-3-2	生徒階段昇降用 年間200日使用	令和6年3月	974,050
11	1-14	エアコンディショナー	エアコン 三菱PKZ-RP1	幼稚部授業・日常活動 年間100日使用	平成15年3月	913,395
12	2-1	パーソナルコンピュータ 周辺機器	点字プリンター FTR ESA721Ver.95	授業及び教材・管理運営用資 料作成、年間200日使用	平成28年3月	907,200
13	1-13	食品食器洗浄機	食品食器洗浄器 食器消毒保管機	学校給食用 年間190日使用	平成3年8月	896,100
14	2-1	その他の情報処理機器	教材用サーバー一式 富士通PYT1321T2S	授業及び教材・管理運営情報 管理用、年間200日使用	平成28年3月	888,591
15	1-4	その他の収納保管庫	生徒用下駄箱	生徒下駄給用 年間200日使用	平成16年3月	829,500
16	2-1	その他の情報処理機器	一体型電子黒板 SHARP PN-L603A	授業用 年間160日使用	平成28年3月	820,800
17	1-13	調理器具	スチームコンベクション コメントカットウCSV-G	学校給食用 年間190日使用	平成16年3月	817,950
18	1-13	食品食器洗浄機	食品食器洗浄器 SANJET SD8332	学校給食用 年間190日使用	令和5年3月	814,000
19	2-1	パーソナルコンピュータ 周辺機器	パーソナルコンピューター周辺機器 電子黒板機能付きプロジェクター他	授業及び教材・管理運営情報 管理用、年間200日使用	平成29年7月	808,380
20	1-4	移動書庫	移動書庫 ITOKI シンラインキャビ	毎日使用	平成11年1月	806,400

